

ほんわ館だより



第51号

平成28年12月発行
中山町立図書館 ほんわ館
中山町大字長崎8038-9
TEL:023-662-6688

開館時間

10:00～19:00

12月の休館日

1～5・12・19・26

28～31日

クリスマスワークショップ のお知らせ

ほんわ館にてワークショップを行います

日時:12月17日(土)10:00～

場所:ほんわ館 多目的室

人数:親子10組

参加費:実費(300円)

講師:松木実枝子氏(池坊)



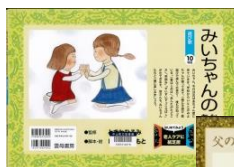
クリスマスに向けてグラスフラワーを教えてくださいます。

12月6日以降、参加費を添えて図書館カウンターに直接お申込みください。定員になり次第、締切らせていただきます。

* 申込締切:12月14日(水)

高齢者向け紙芝居が入りました

『金色夜叉』や『愛染かつら』など、なつかしいドラマや映画の紙芝居・かぞえうたやあそびうた、言葉遊び、戦争中の生活を物語にした紙芝居、などがございます。



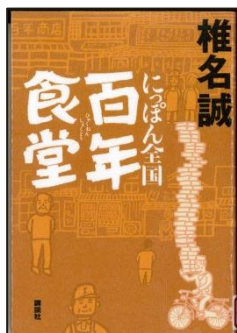
町内の施設でご利用の場合は、紙芝居の舞台や拍子木をお貸しすることもできます。一度ご覧ください。

第20走者

愛読書リレー



今月のランナーは中山町商工会 事務局長 田宮 昌幸さんです!



『にっぽん全国 百年食堂』

椎名 誠 / 著 講談社

最近、まんがの本も読んでいない私に愛読書リレーの依頼が届き、早速本探しに「ほんわ館」へ。10月初旬のことで読書の秋ですが、私にとっては食欲の秋、無意識に料理本の棚に立っていた。レシピ集が多い中、目に入ったのが『にっぽん全国 百年食堂』、立ち読みしているうちに何故かはまってしまった。

本書は、椎名誠と楽しい仲間の取材旅行、探訪記です。『にっぽん全国 百年食堂』は「うまい店・有名老舗」の紹介ではなく、その土地に根付き町の人に支持され長生きできた食堂の取材で、日本の長寿企業と共通しています。多くの長寿企業はビジネスを単なる金儲けの手段ではなく、社会的な意義を持つ行為だと考えています。

百年食堂もある意味で社会貢献しています。企業も個人も長生きするには、共存共栄を意識することが必要と考えさせられた一冊です。お薦めします。

『にっぽん全国 百年食堂』

椎名 誠 / 著

講談社

【596 / シ】

♪ありがとうございました!! 次号のランナーは中山町商工会 副会長 小松 杜一さんです。

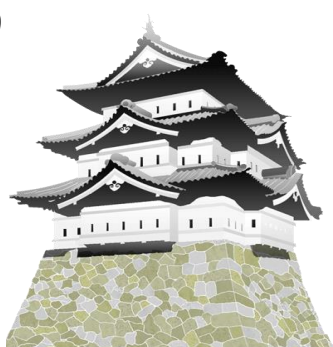
今月のおすすめコーナー

戦国時代

近年、テレビやゲームでも盛り上がりを見せる戦国時代。

大河ドラマでも 今作に続き来年の次回作も戦国時代が舞台となっています。

幾百年の時を経てもなお人々の心を惹きつける魅力とは、



今月は戦国時代をテーマに、戦国武将からお城や甲冑をテーマにしたものなど様々な本を集めました。

「いざ、戦国時代へ！」
…図書館からタイムスリップしてその魅力を探ってみませんか？



『剣と紅』高殿円
文藝春秋
913.6/タ
(★井伊直虎の生涯を描いた歴史小説)

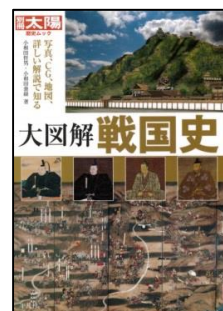


『戦国時代の肖像画』
二木謙一・須藤茂樹
新人物往来社
210.4/フ

※他にも多数
ご用意しております



『戦国武将びあ』
びあ
281.0/セ

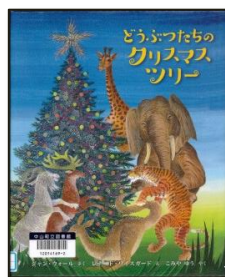


『大図解 戦国史』
小和田哲男・小和田泰経
平凡社
210.4/オ

2017年のNHK大河ドラマは「おんな城主 直虎」

井伊氏は平安時代の在庁官人からはじまり、後には国人領主として現在の浜松市北区一体を治めました。南北朝の動乱期に城主として立ち上がったのが井伊直盛の一人娘・井伊直虎です。

新しく入った児童書



『どうぶつたちのクリスマスツリー』
レナード・ワイスガード/え
ジャン・ウォール/さく
好学舎 【E/7】
動物たちがクリスマスツリーを作る心温まるお話です。

・『にっぽんのおかず』

白央 篤司/著
理論社 【383/ハ】

・『サバンナのいちにち』

斉藤 洋/さく、高島 純/え
【913/サ】

・『ほしじいたけほしばあたけ』

石川 基子/作、講談社 【E/I】

ここに掲載されている本は一部です。

キラキラ
おすすめ

9/13~9/17まで
インターシップにいらしゃった
石川愛夏さんがお薦めする本です

『zoo』
乙一/著、集英社

両親は互いの姿が見えなくなってしまうらしい。
困った「ぼく」の日々を記した『そ・ふあー』。
痛覚のない「ワシ」が誰かに刺された。同時に
輸血パックも喪失!!彼と家族のパニックを書いた
『血液を探せ!』。

ジャックされた飛行機の中で出会ったサラリーマン。
安楽死の薬を買うか否か、究極の二択を迫られる
『落ちる飛行機のなかで』などの人の苦悩や葛藤を
詰め込んだ一冊。

短編なので読みやすく、一つ一つが濃厚な内容
なので、長編にも引けを取りません。
乙一ファンにも、未読の方にも、お薦めの作品です。



『zoo』
乙一/著
集英社/出版 913.6/オ